# 保健学研究科 博士後期課程 看護学分野 看護学高度研究コース カリキュラム・マップ

	卒	業・学位授与方針(ディ	グリー・ポリシー)における修行	导できる力	
	実践力	探究力	コミュニケーションカ	専門力	教養力
	育成における課題を定め、差異を活かし、医科学の向上やヘルスプロモーションのために新たな知見や解決策を社会に示す実践力	究・人材育成における課題の本質を独創的に見極め、顕わす探究力	看護学の実践・教育・研究・人材 育成においてリーダーシップ を発揮できるコミュニケーション カ	自立した研究能力を持ち、新たな知見を発見し、機器・技術等を創造できる専門カ	様々な価値観に対する多角 的視点と柔軟な発想を持 ち、グローバル化等社会の 変化に迅速に対応でき、自 らの智をたくましくする教 養力
科博士後期 課程 看護学高度	看護学の課題と向き合う中で、他 の専門との差異を理解して互恵的 に生かし、課題を解決できる。 看護学の実践・教育・研究・人材	いて、独自の観点から課 題の本質や普遍性を発見	育成において、知識や技術を他者 へ明確に伝達できる。 看護学を背景とするチーム医療に おける役割を見いだし、説明でき る。 医療関係者それぞれの立場、知	ての知識と研究方法を説明でき、技術を利用できる。 知識、技能を深く統合できる。	できる。 グローバル化など社会の変 化を説明できる。 幅広い価値観から学ぶこと を通して自らの成長に繋げ

区		科目名	年	単位	立数			を得できる	<u>カ</u>	
	分	村日名	次	必修	選択	実践力	探究力	コミュニケー ション力	専門力	教養力
	1	学位プログラム概論	1 • 2	1		0	0		0	0
フ 系	ァ 斗	インタープロフェッショナルワーク論	1 • 2	2			0	0	0	0
E	1	Introduction course for health sciences	1 • 2		2	0		0	0	0
		看護学研究特講	1		2	0	©		0	
	看	実践科学統計学	1		2	0	0		0	
	護学共	グローバル・プレゼンテーション 1	1~3		1	0	0		0	
	共 通 科	グローバル・プレゼンテーション 2	1~3		1	0	0		0	
	目	国際研究インターンシップ(後期)	1~3		1	0	0		0	
		インターンシップ実践(後期)	1~3		1	0	0		0	
		基礎看護学特講	1		2	0	0		0	
	基	基礎看護学演習	1		2	0	0		0	
	礎 看 護	感染管理学特講	1		2	0	0		0	
	護学	感染管理学演習	1		2	0	0		0	
		基礎看護学特別研究	3	(4)		0	0		0	
		成育看護学特講	1		2	0	0		0	
		成育看護学演習	1		2	0	0		0	
	成	小児看護学特講	1		2	0	0		0	

E.		ИПА	年	単位	立数		值	を得できる.	カ	
区	分	科目名	次	必修	選択	実践力	探究力	コミュニケー ション力	専門力	教養力
	育看護学	小児看護学演習	1		2	0	0		0	
看		リプロダクティブヘルス特講	1		2	0	0		0	
看護学専門科		リプロダクティブヘルス演習	1		2	0	0		0	
門科		成育看護学特別研究	3	(4)		0	0		0	
目		緩和ケア科学特講	1		2	0	0		0	
	臨床	緩和ケア科学演習	1		2	0	0		0	
	応用看	成人看護科学特講	1		2	0	0		0	
	護学	成人看護科学演習	1		2	0	0		0	
		臨床応用看護学特別研究	3	(4)		0	0		0	
		地域公衆衛生看護学特講	1		2	0	0		0	
		地域公衆衛生看護学演習	1		2	0	0		0	
		看護政策システム学特講	1		2	0	0		0	
	ПМ	看護政策システム学演習	1		2	0	0		0	
	ュニテ	老年看護学特講	1		2	0	0		0	
	イヘ	老年看護学演習	1		2	0	0		0	
	ル ス 看	地域ケア開発学特講	1		2	0	0		0	
	護学	地域ケア開発学演習	1		2	0	0		0	
		精神保健看護学特講	1		2	0	0		0	
		精神保健看護学演習	1		2	0	0		0	
		コミュニティヘルス看護学特別研究	3	(4)		0	0		0	

○、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ○: 強く関連する、○: 関連する

## 保健学研究科 博士後期課程 放射線技術科学分野 放射線技術科学・先端研究コース カリキュラム・マップ

	卒	業・学位授与方針(ディ	グリー・ポリシー) における修行	导できる力	
	実践力	探究力	コミュニケーションカ	専門力	教養力
保健学研	放射線技術科学の実践・教育・研究・人材育成における課題を 定め、差異を活かし、医科学の 向上やヘルスプロモーションの ために新たな知見や解決策を社 会に示す実践力	践・教育・研究・人材 育成における課題の本 質を独創的に見極め、	放射線技術科学の実践・教育・研究・人材育成においてリー ダーシップを発揮できるコミュ ニケーションカ	ち、新たな知見を発見	様々な価値観に対する多 角的視点と柔軟な発想を 持ち、グローバル化等社 会の変化に迅速に対応で き、自らの智をたくまし くする教養力
究科博課を対象を表現の表別を表現の表別を表現の表別を表現である。	放射線技術科学における医科学の 向上やヘルスプロモーションの必 要性を説明できる。 放射線技術科学の課題と向き合う	学識を用いて、独自の観点から課題の本質や普遍性を発見し、自ら解決方法を見いだせる。 見出した本質や普遍性を、広く社会に平易な言	放射線技術科学を背景とするチーム医療における役割を見いだし、 説明できる。 医療関係者それぞれの立場、知 識、スキルを理解した上で、他者	門職としての知識と研究 方法を説明でき、技術を 利用で きる。 知識、技能を深く統合で きる。	情報の収集・分析などを行うことができ、適切に活用できる。 グローバル化など社会の変化を説明できる。 幅広い価値観から学ぶことを通して自らの成長に繋げ

区		利口力	年	単位	立数			移できる	<u>カ</u>	
<u> X</u>	分	科目名	次	必修	選択	実践力	探究力	コミュニケー ション力	専門力	教養力
	1	学位プログラム概論	1 • 2	1		©	©		©	0
フ 系	P 斗	インタープロフェッショナルワーク論	1 • 2	2		0		0	0	
目		Introduction course for health sciences	1 • 2		2	0		0		0
	目放 射 線	グローバル・プレゼンテーション 1	1~3		1	0	0		0	
	技術	グローバル・プレゼンテーション 2	1~3		1	0		0		0
7 4	科学共	国際研究インターンシップ (後期)	1~3		1	0	0	0		
	通科	インターンシップ実践(後期)	1~3		1	0		0	0	
+4-	医用:	医用物理工学特講	1		2		0		0	0
放射線		医用物理工学演習	1		2	0			0	0
技術科	情 報 理	医用画像解析・診断技術学特講	1		2		0		0	0
学専	工学	医用画像解析・診断技術学演習	1		2	0		0	0	
門 科 目		医用情報理工学特別研究	3	(4)		0	0	0	0	0
	放	放射線診療技術学特講	1		2	0	0		0	
	射 線	放射線診療技術学演習	1		2	0		0	0	
	健康支援	放射線生命・健康科学特講	1		2		0		0	0
	科	放射線生命・健康科学演習	1		2	0	0		0	
	学	放射線健康支援科学特別研究	3	(4)		0	0	0	0	0

## 保健学研究科 博士後期課程 検査技術科学分野 臨床検査科学・先端研究コース カリキュラム・マップ

	卒業・学位授与方針(ディグリー・ポリシー)における修得できるカ										
	実践力	探究力	コミュニケーションカ	専門力	教養力						
保健学研 後 り で り は は は は は は い き い き い の の の の の の の の の の の の の の の	め、差異を活かし、医科学の向上やヘルスプロモーションのために新たな知見や解決策を社会に示す実践力 臨床検査科学における医科学の向上やヘルスプロモーションの必要性を説明できる。 臨床検査科学の課題と向き合う中で、他の専門との差異を理解して互恵的に生かし、課題を解決できる。	教育・研究・人材育成における課題の本質を独創的に見極め、顕わす探究力 臨床検査科学の専門的観を発見し、本質を発見したは、本質のはいた本質を見出したと、登別になる。 見出したと、登別になる。 見出したと、登別になる。 見出した、登別になる。 見出になる。	究・人材育成において、知識や技術を他者へ明確に伝達できる。 臨床検査科学を背景とするチーム 医療における役割を見いだし、説明できる。	ち、新たな知見を発見 し、機器・技術等を創造できる専門力 臨床検査科学の高度専門方 協体としていき、技術を利 法を説明できる。 知識、技能を深く統合で きる。 新たな知見を発見でき、	角的視点と柔軟な発想を 持ち、グローバル化等社 会の変化に迅速に対応で き、自らの智をたくまし くする教養力 情報の収集・分析などを行 うことができ、適切に活用 できる。 グローバル化など社会の変 化を説い価値観から学ぶこと 幅広い価値観から戻に繋げ						

区	分	科目名	年	単位	立数			修得できる	る力	
	カ	符日名	次	必修	選択	実践力	探究力	コミュニケー ション力	専門力	教養力
	<b>-</b>	学位プログラム概論	1 • 2	1						0
禾	ア 斗	インタープロフェッショナルワーク論	1 • 2	2			0	0		0
	1	Introduction course for health sciences	1 • 2		2					0
	検 査	グローバル・プレゼンテーション 1	1~3		1			0		
	技 術 目科	グローバル・プレゼンテーション 2	$1 \sim 3$		1			0		
	学共	国際研究インターンシップ (後期)	1~3		1			0		
	通 科	インターンシップ実践(後期)	1~3		1	0				
		組織・細胞情報学特講	1		2				0	
検 査 技	病態	組織・細胞情報学演習	1		2	0				
術科	情 報	感染症・病原因子解析学特講	1		2				0	
学専門	科 学	感染症・病原因子解析学演習	1		2	0				
科目		病態情報科学特別研究	3	(4)			0			
		生体機能情報学特講	1		2				0	
	生体	生体機能情報学演習	1		2	0				
	情 報	生体防御機能解析学特講	1		2				0	
	科 学	生体防御機能解析学演習	1		2	0				
		生体情報科学特別研究	3	(4)			0			

# 保健学研究科 博士後期課程 検査技術科学分野 超音波検査士育成コース(博士前・後期一貫コース) カリキュラム・マップ

	卒	業・学位授与方針(ディ	グリー・ポリシー)における修行	导できる力	
	実践力	探究力	コミュニケーションカ	専門力	教養力
を 査士 コース(博 士前期 後期課程	医用超音波診断の実践・教育・研究・人材育成における課題を 定め、差異を活かし、医科学の 向上やヘルスプロモーションの ために新たな知見や解決策を社 会に示す実践力 医用超音波診断における医科学の 向上やヘルスプロモーションの必	医用超音波診断の実 践・教育・研究・ 所究・題極め、 所で、題極め、 原を独創物に見極め、 原を独創物で力 医用超音波診断の専門の 管識を用いて、本質ら解し、 はを発見したせ質らいた。 発見した本社でで解説できる。 見いた本さきる。 見いた本さきる。	医用超音波診断の実践・教育・研究・人材育成においてコニュニケーションカ  医用超音波診断の実践・教育・研究・人材育成において、知識や充分で、人材育成において、知識や技術を他者へ明確に伝達できる。 医用超音波診断を背景とするチーム医療における役割を見いだし、説明できる。	自立した研究能力を持ちした研究能力を発見した研究能力を発見した研究能力を発見した研究能力を発見して、機器・技術・を制造できる専門力  医用超音波診断の高度研究を利用できる。 対法を説さる。 知識、を深く統合できる。 対抗を発見でき、	様々な価値観に対する多 角的視点が発想を 持ち、グローバル化等社 会の変化に迅速に大く 会、自らの智をたく くする教養力 情報の収集・分析などを行 うことができ、適切に活用 できる。 グローバル化など社会の変 化を説明できる。 学ぶこと 幅広い価値観から学ぶこと を通して自らの成長に繋げ

区	分	科目名	年	単位	立数		值	を得できる!	カ	
	カ	<b>村</b> 日 名	次	必修	選択	実践力	探究力	コミュニケー ション力	専門力	教養力
	1	学位プログラム概論	1 • 2	1		$\circ$	$\circ$			0
<b>利</b>	ア 斗	インタープロフェッショナルワーク論	1 • 2	2				0		
E	1	Introduction course for health sciences	1 • 2		2					0
	検査	グローバル・プレゼンテーション 1	1~3		1	0				
	通技 科術 目科	グローバル・プレゼンテーション 2	1~3		1	0				
	学共	国際研究インターンシップ (後期)	1~3		1			©		
		組織・細胞情報学特講	1		2				0	
	病態情報科学	組織・細胞情報学演習	1		2	0			0	
1-1		感染症・病原因子解析学特講	1		2				0	
検 査 技		感染症・病原因子解析学演習	1		2	0			0	
術科		病態情報科学特別研究	3	(4)		0			0	
学 専 門		生体機能情報学特講	1		2				0	
科目		生体機能情報学演習	1		2	0			0	
	生	生体防御機能解析学特講	1		2				0	
	生 体 情	生体防御機能解析学演習	1		2	0			0	
	報 科 学	超音波画像計測学実習Ⅲ	1		4	0			0	
	子	超音波画像計測学実習IV	2		4	0			0	
		超音波画像計測学実習V	3	4		0			0	
		生体情報科学特別研究	3	(4)		() ()			0	

## 保健学研究科 博士後期課程 検査技術科学分野 ゲノム医療・医科学研究コース カリキュラム・マップ

	卒業・学位授与方針(ディグリー・ポリシー)における修得できるカ											
	実践力	探究力	コミュニケーションカ	専門力	教養力							
保健学研		育・研究・人材育成に おける課題の本質を独 創的に見極め、顕わす		ち、新たな知見を発見	様々な価値観に対する多 角的視点と柔軟な発想を 持ち、グローバル化等社 会の変化に迅速に対応で き、自らの智をたくまし くする教養力							
究科博士後期課程ゲノム医	ゲノム医療における医科学の向上 やヘルスプロモーションの必要性 を説明できる。 ゲノム医療の課題と向き合う中 で、他の専門との差異を理解して	を用いて、独自の観点から課題の本質や普遍性を 発見し、自ら解決方法を 見いだせる。見出した本 質や普遍性を、広く社会 に平易な言葉で解説でき	人材育成において、知識や技術を 他者へ明確に伝達できる。 ゲノム医療を背景とするチーム医 療における役割を見いだし、説明 できる。	としての知識と研究方法 を説明でき、技術を利用 できる。 知識、技能を深く統合で きる。 新たな知見を発見でき、	情報の収集・分析などを行うことができ、適切に活用できる。 グローバル化など社会の変化を説明できる。 幅広い価値観から学ぶことを通して自らの成長に繋げ							

区		科目名	年	単位	立数			を得できる)	カ カ	
<u> </u>	ガ	村日名	次	必修	選択	実践力	探究力	コミュニケー ション力	専門力	教養力
3	1	学位プログラム概論	1 • 2	1		0	0			©
<b>利</b>	ア 斗	インタープロフェッショナルワーク論	1 • 2	2				0		
į	1	Introduction course for health sciences	1 • 2		2					0
	検査	グローバル・プレゼンテーション 1	1~3		1	0				
	通技 科術 目科	グローバル・プレゼンテーション 2	$1 \sim 3$		1	0				
	学共	国際研究インターンシップ (後期)	$1 \sim 3$		1			0		
	病態	組織・細胞情報学特講	1	2					0	
   検   査		組織・細胞情報学演習	1	2		0			0	
全 技 術	情 報	感染症・病原因子解析学特講	1		2				0	
科学	科学	感染症・病原因子解析学演習	1		2	0			0	
· 専 門 科		病態情報科学特別研究	3	(4)		0			0	
目		生体機能情報学特講	1		2				0	
	生体	生体機能情報学演習	1		2	0			0	
	情 報	生体防御機能解析学特講	1		2				0	
	科学	生体防御機能解析学演習	1		2	0			0	
		生体情報科学特別研究	3	(4)		0			0	

<sup>◎、○</sup>の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎:強く関連する、○:関連する